東京美唄会

第16号
◆発行所◆
〒113 東京都文京区
千駄木3－36－11
センチュリー21
Tel 03－3824－0010
◆発行責任者◆
細畑正治

10周年記念に300有余名集まる！

総会報告

東京美唄会事務局長　細畑正治

去る二月一三日午後三時から、池袋の東方会館の平安・末広の間において、第九回東京美唄会の年次総会並びに懇親会を開催いたしました。

三百人をはるかに超えて例年を上回る参加者で、会場は熱気につつまれ盛況そのもので、懐旧の再会に溢れる満場の喜びを感じました。

これも偏えに会員の皆様の、ご理解とご協力によるものと幹事を代表し、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

総会

今総会は東京美唄会十周年の記念総会と、美唄市東京事務所開設十周年の記念の合同イベントとし、地元美唄市の関係各位の多数のご出席と御来賓の方々の多くの御参加により、一層の盛況を呈した記念すべき総会でありました。

総会は「メロディアスタウン美唄」のふるとさのメロディが、静かに流れる中に開幕され、故大槻名誉会長をはじめ多くの会員物故者に対する黙祷を捧げて始まりました。

冒頭、美唄市長より、羽田会長への感謝状の贈呈が行われ、東京美唄会へ対する地元美唄市から寄せられた、激励が我々の胸を熱くする思いが伝わってまいりました。

引き続き、記念総会に移りまして、東京美唄会会長表彰が行われました。歴代事務局長が、幹事の代表として受賞、更には、美唄市東京事務所勤務の傍ら多忙の中を、我々美唄会の為にお力添えを戴いた、有馬祐憲氏、日西昌隆氏に感謝状の贈呈が行われ会員の感謝の気持ちが伝えられました。

その後、事務局長から会務、事業、予算決算に関する報告をさせて戴きました。（詳細別掲）更に、改めて役員改選を上程し御承認を戴き、二年間新役員で運営することを負託されました。

幹事の方々も、日頃御多忙の中を又、二年間、会務にご協力を戴くことになりました。

懇親会

さて、皆さんご期待の懇親会に入りました。

市長・来賓のお祝辞に続いて、そして、尽きることのないこの盛会の最後は、当美唄会の設立に特段のお力添えを戴いた、初代、美唄市東京事務所長の、現、美唄市吉岡助役の力溢れた万歳三唱により閉会となり、会員の方々は、来年の再会を約しつつ、会場を名残を惜しみつつ退場して行きました。

ワープロ入力
印刷・出版
企業・販促ＰＲ
有限会社
輝栄
belief & etiquett
3847-9731

◆新任挨拶◆ 美唄会の皆様 初めまして

美唄市東京事務所長　小林精三

四月の人事異動で美唄市東京事務所長を命じられました小林です。略歴を簡単に申し上げますと昭和四五年に市役所に採用となり以下税務課を皮切りに、主として現業部門の仕事に携わってきました。

直前は福祉事務所の生活福祉係として主に身障・精薄等の業務で、通算すれば六年程になりますが、私なりに大変やりがいのある仕事と満足しています。

さて、国内の経済動向は一昨年から景気が減速過程をたどり、民間では在庫調整、設備部門の投資差し控え、さらに個人消費の低迷があり、加えてバブル経済の崩壊による企業の倒産、さらにはバブルのツケの後遺症による企業の衰退等がありましたが、過疎化の進行している美唄への影響はただならぬものがあり、美唄市東京事務所の置かれている役割も痛感しているところです。

しかし本年は空知中核工業団地が分譲開始してから一〇年目であり、関係者の御努力により、平成四年には自治体衛星通信機構の美唄管制局の開設により北の情報発信基地として、新たな展開をみているほか、本年は同団地内にアルペンゴルフ場が造成に着手し、平成七年のオープンを目指しており、今後の企業誘致に弾みがつくことを期待しているところです。

昨年は、東京美唄会も一〇周年を迎え、会員相互の親睦を図られていることは勿論のこと、郷土美唄の発展に寄与されていると伺っておりますが、私も微力ながらお手伝いさせていただこうと考えておりますので、宜しくお願い致します。今後の東京美唄会の一層のご発展と会員の御健康を御祈念申し上げて御挨拶といたします。

◆退任挨拶◆ 一会員の清福を祈りつつ

前美唄市東京事務所長　佐々木孝嘉

皆さんこんにちは。お変わりございませんか。

美唄市東京事務所に在任中は、東京美唄会の役員さんをはじめ大変多くの方々から暖かいご支援を頂戴することができ、誠にありがとうございました。

東京事務所の勤務は、私にとって生涯忘れることのできない思い出です。

しかし一方では、経済振興課長としての職務を兼任する立場にありましたので、東京事務所のみに全力投球することができず、堀川次長（生活福祉課長）や温厚篤実な日西さんに支えられての任務遂行でした。

在任期間中は企業誘致活動が優先課題でしたが、不運にも日本経済最悪の時期と重なり東奔西走の日々にあっても求める答が見えてこないため、心せく思いをいたしました。

そんな中で、はじめて参加した東京美唄会の総会は大変な盛会で、側面からお手伝いした一人として大変嬉しく思いました。

これも偏に役員の皆様が盛夏のうちから集まっては夜遅くまで激論を重ね、あるいは、あちこち頭を下げて回った成果の現れと思い、その真摯な姿に敬意を覚えました。

私は現在、職員課という内部事務を担当しておりますが、これからも新たな目標を設定し挑戦していきたいと考えておりますまので、どうか変わらぬご支援をお願い致します。

結びになりましたが、いつまでも東京美唄会は会員の皆様にとって思い出の郷里につながる架け橋であり、現の郷里に対する応援団であります。

同時に、会員の皆様の限りないご清福をはるかからお祈りいたし、退任のごあいさつといたします。

東京美唄会顧問渡辺省一 衆議院議員6度目の当選

6月22日に、国務大臣科学技術庁長官に任命されました、渡辺省一衆議院議員が7月18日の総選挙で6度目の当選を果たしました。

当初、閣議のため選挙区で十分な運動もできず苦戦を強いられましたが、選挙区全般から平均的な得票を受け連続6度目の当選を果たしました。

渡辺国務大臣おめでとうございます。

これからも更なる飛躍を期待しております。

年会費納入のお願い

当会の年会費は、会報の発行、送付のほか総会準備など全会員のための経費に充てられます。

今年も愈々後半期に入ってまいりましたのでお手数乍ら年会費2，000円を下記銀行の最寄店で「東京美唄会　細畑正治」名義宛お振込み下さいます様お願い申し上げます。

富士銀行　根津支店
普　通　235－973115
東京美唄会事務局長
細畑正治

掛軸・日本画・洋画
高価買入致します
近岡美術
近岡茂
（旭台出身）
〒215　川崎市麻生区王禅寺460番地143
電話　044(989)3500番

◆退任挨拶◆
三年間の経験を生して美唄のために

前美唄東京事務次長
堀川泰雄

東京美唄会の皆さん、こんにちは。

三年間大変お世話になりました。

特に幹事の皆さん、そして事務所の日西さんには、心暖まるおつき合いをいただきました。

深く感謝を申し上げます。

私が東京二年目の時、三菱総研に出向していた津田さん（現美唄市企画係長）とともに「美唄会会員の加入促進」の取り組みをさせていただいたこと、事務局長の細畑さん、会計幹事の高橋さんのお供をして両国国技館に二子山親方を訪ね、その余勢をかって今をときめく若貴兄弟を擁する中野新橋の藤島部屋まで行ったこと、本年二月に池袋で盛大に開催された美唄会十周年、狭い事務所で折り重なって何度も開かれた幹事会等々、今は良い思い出となりました。

また、三菱マテリアルほか、賛助会社の皆様にも巾広いご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

閉山都市である美唄市は、他市に先駆けて高齢化時代に入りました。

身体の不自由な方への入浴介護サービス、老人世帯への配食サービスなど多様な福祉施策を進めておりますが、私も東京での経験を生かしながら新しい職場である生活福祉課で美唄市の目指します「人にやさしいまちづくり」を念願に努力したいと考えています。

四月八日、私にとって第二の故郷となった千駄木団子坂に別れを告げ、小雨の煙る中を満開の桜に見送られて東京を後にしました。

在任中、いろいろな場面で多くの皆様にお世話になりました。

重ねてお礼を申し上げますとともに、皆様の今後一層のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。皆さん、どうぞお元気で・・。

会員訪問

会員訪問も今回で、回を重ねて四回目、函館本線の峰延駅と光珠内駅の間、美唄駅に向かって右側山裾に建つ工場が炭坑用爆薬を作っていた日本油脂㈱を訪ねました。

岡本甲子男社長は大正十三年静岡県菊川町に生を享け、昭和二十三年東大を卒業、日本油脂㈱に入社で生え抜きの社長として大活躍です。

当社は、二十一世紀に向けて「バイオから宇宙まで」をキャッチフレーズとして新素材バイオ、宇宙開発の三分野に力を注いでいこうと考えています。

バイオは、当社の脂質の技術を使っての生命医療、健康の産業分野に役立つ商品を、新素材は高分子、光学材料、医療素材などの研究・開発、宇宙開発はロケット燃料と火工部品の製造であります。

とくに第六の事業創出をするため、推進事業分野としてライフサイエンス事業を選択し、新しい事業機会を目指しています。

《美唄とのかかわり》

戦後の我が国の復興を担った石炭産業に深い関わりのある炭鉱用爆薬を産炭地近い北海道において生産供給したいと決意し、当社は美唄市のご協力を得て峰延地区に武豊地区（愛知県）に次ぐ第二の火薬工場として美唄工場を昭和二九年六月に建設・完成しました。

当初は、粉状態ダイナマイトのみを生産していましたが、三三年からは、膠質ダイナマイトも生産するようになりました。

又、三三年には帝国火工品製造㈱（四五年に当社に合併）も隣接地に電気雷管の製造工場を新設、ここに日本唯一の総合火薬工場が完成致しました。

昭和四〇年以降需要業界が大きく変動（炭鉱・砿山の相次ぐ休閉山、石灰山の隆盛、土木・採石の消長）し、美唄工場の本来の設立目的である炭鉱用爆薬の生産は殆ど無くなり、また産業爆薬の需要構造の変化により電気雷管の需要も最盛期の四分の一位に減って来ました。

このように美唄工場の本業の方は残念ながら需要環境の激変により存続そのものが危なくなって参りましたが、この苦境を打開するため平成元年には電子材料セラミックスの分野に参入し、セラミックス製造設備を完成させ輸入品を中心に製造することとなり爆薬・電気雷管に次ぐ工場製品の柱として大きく育てるため多大の研究開発ならびに設備の投資を進めて参りました。

しかしこのところの急激な円高のため、輸出中心のこの事業もまた非常な苦戦を強いられております。

長年美唄市の一角において、日本で唯一の産業爆薬・電気雷管の総合工場として活躍し地域経済に貢献してきました美唄工場も今やリストラを迫られることとなりました。

今後は経営努力と従業員の協力により、この厳しい環境下において存立し得る美唄工場にして行きたいと考えております。

東京美唄会は、年々その会員の数も増え益々盛り上がっているとのこと、ご同慶の至りでございます。

皆様方のご出身である美唄の地で工場並びに従業員を抱えております当社としては、皆様には特別の親しみを感じております。当会の一層のご発展と皆様のご健康・ご活躍をお祈り致しますと共に美唄工場へのご指導・ご鞭撻の程もお願いいたします。

《新しい行動指針》

「経営理念」を一新するために、従来の「社是」を「行動指針」と改め、しなやかでたくましい企業への変身をめざして新たなスタートを切りました。

新しい経営理念と行動指針は、新鮮な若い息吹を感じる柔軟で力強い規範にしたいと考え、若手社員からなる「CI委員会」を組織し、彼らが主体となって検討・立案してきました。その結果できあがった「新・行動指針」は、以下のとうりです。

・力、あつめて（創り出そう）魅力ある商品を次代の種子を豊かさに
・わくわく技術（チャレンジしよう）失敗を恐れずスピーディに情熱をもって
・まず、お客様（聴いてみよう）お客様の声を異なる声を未来の足音を
・地球が舞台（仲間にしよう）思考を技術を環境を
・夢、いきいき（楽しもう）仕事を人生を新しい自分を

従来の行動指針にあたる「社是」は、「明朗・公正・積極」という、極めて単純明快なものでした。

何よりもこの「行動指針」は、若手社員が創った所に価値があります。

地球環境の保護・保全に関して化学の果たす役割は無限にあり、化学技術は二十一世紀のキーテクノロジーとなることは必至です。

「バイオ」から「宇宙」までをキャッチフレーズに総合化学メーカーをめざす当社は、新しい経営理念と行動指針のもとで、二十一世紀の豊かな社会の創造に貢献していきたいと考えています。

（文責・佐藤）

ライフサポートエリアを
今、市民が大活用
福祉の向上を採り入れた町づくりへ

美唄市は、来たるべき21世紀を迎えるに当り、高齢社会化への対応として、豊かな住みよい街づくりに力を入れています。

総合福祉センター

来るべき高齢化社会の到来に向けて、だれもが健康で生きがいのある生活をおくることができるよう、入浴サービスなどの在宅福祉デイサービス事業をはじめとする各種社会福祉事業の総合拠点施設として利用されています。

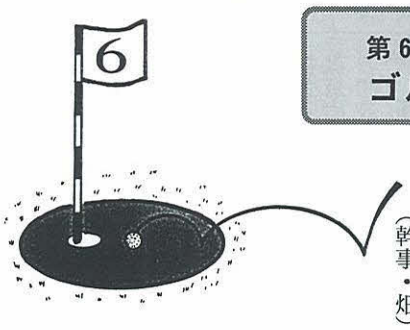
保健センター

「自分の健康は自分でまもる」というセルフケア思想の定着に向け、健康診断、健康相談や各種予防接種・検診など市民の健康づくりの拠点として利用されています。

ピパオイの里プラザ

ハスカップを染料に使った染物や、陶芸、農産物の加工など地場産業の開発研究・育成のほか講習会やイベント、会議に利用されています。

ピパオイの里プラザ　総合福祉センター（旧美唄中学跡地）　保健センター



第６回美唄市長杯争奪
ゴルフコンペ開催　参加者大募集!!

今年も定例ゴルフコンペ開催の時期となりました。開催日は九月中を予定しています。

年々参加者も増え、盛会になっています。コンペの更なる発展と会員相互の親睦の輪が広がるよう、一人でも多くの参加を望んでいます。

また、例年開催コースの予約に苦労しています。会員の方でコースを取れる方ご一報ください。

（幹事・畑）

祝　東京美唄会創立10周年

〈会長〉羽田春兎
〈副会長〉岡田豊　柏原宏平　竹林省吾　都竹卓郎
〈顧問〉逢坂国一　有馬祐憲　佐藤定雄　対馬孝且　山下徳夫　渡辺省一
〈事務局長〉細畑正治

衆議院議員当選
おめでとうございます

専修大学理事長
山下徳夫様

表彰

美唄市東京事務所設立一〇周年を記念して美唄会の功労者を美唄市滝市長から羽田美唄会会長え永年美唄会えの功労に表彰状と記念盾を授与されました。

美唄会からは三浦武美氏・細畑正治氏・有馬祐憲氏・日西昌隆氏の四氏です。

三浦武美氏は初代美唄会事務局長として美唄会設立から参加して敏腕を振るわれました。

細畑正治氏は三浦氏の後を受けて事務局長の激務にも係わらず三菱・三井・専修大学等えの交渉やお願いを自分の仕事を返り見ず、会の為に尽くしてくれたことは筆舌に尽くせぬことでした。

有馬祐憲氏は初代の美唄市事務所所員の傍ら美唄会の事務や連絡等に力を貸して来れました。

日西昌隆氏は有馬氏の後を受けて美唄市の繁雑な仕事があるにも拘わらず美唄会の連絡記録等、又、総会の時には受付なども嫌な顔ひとつせず協力してくれるなど温厚な人柄です。

表彰された感激の4氏

右より　日西昌隆氏　三浦武美氏　細畑正治氏　有馬祐憲氏

窪田武夫さん（常盤台）

兄も（富夫氏）も来ているのですが・・・

今日はこれ程盛り上がるとは、会場に足を踏み入れるまで想像も出来ませんでした。

会場では懐かしい顔、顔、顔美鉄の時の顔、常盤台小の顔、いろんな顔が見えております。うれしいですねェ・・・

年に一回ではなく二回位開いてもらいたい位ですが、年一回だから来年につなげることができるのだと思います。

今日は本当に楽しいです。

安田侃さん（市内）

今日から会員になりました。会報にいつも作品を紹介いただき有り難うございます。

イタリヤにいることが多いものですから・・・

初めて参加して郷里の美唄を思う人々が大勢集まって笑顔で語っている姿が素晴らしいですね。しかも今日は一〇周年の意義ある会に出席できて感激です。これからも出来るだけ機会を作って出席するように致します。

小山内克美さん（月見台）

創立一〇周年記念総会に出席できて感激です。想像以上に盛会でびっくりしております。

私も美唄を出て三〇年になるんですね。早いものです。

今も小学校時代（沼東ですが）の懐かしい顔を見つけてあの当時の話に花を咲かせていた所です。

年に一度の会合で昔を語る場所を提供してくれるのですから東京美唄会サマサマです。

キララの様に喜ぶ羽田さん

第9回東京美唄会
祝う！ 10周年記念総合
―懇親会会場からの声―

（レポーター・佐藤幹事）

美唄市東京事務所開設10周年と、当会創立10周年を合同で祝った、第9回東京美唄会総会は、三百有余名の会員・市関係者が集まり、新生美唄の発展を思う気持ちと、ふる里美唄を偲ぶ気持ちが交錯し、進行の演出が雰囲気を盛り上げ抽選会の当り外れと相俟って、ハイ！な一夜を過しました。

会員の皆さま、市関係者の皆さま、私事を犠牲にして頑張った幹事の皆さまほんとうにご苦労さまでした。

会場で拾った、嬉々たる声を混じえてスナップをお送りいたします。

山崎さん（市内）

主人が今年定年（マテリアルを）になりますので、それを機会に、北海道へ戻ろうと計画しておりますので、それで昔の友達に会いに来ました。

それにしても賑やかなものですね、驚愕しました。

東京美唄会が出来て一〇周年になるんですね。早いものです。

子供達を東京に残して行きますので年に二～三回は出て来ます、出来るだけ美唄会の会合の時に合わせるようにして出て来たいと思っております。

そのときには宜しく。

中村鉄夫さん（鴻ノ台）

四～五年前から毎年出てきますが、年々賑やかになって来るように感じます。

とくに今年は一〇周年のせいか盛会ですね。こうゆう会が毎年開くことが出来ることは素晴らしいですね。

会を盛り上げるのは我々一人一人が参加して行くよりはないと思うのです。

私も、知り合いに出来る限り声を掛けて参加するように致します。

来年もまた来ます。宜しく。

会長賞キララ一俵を当てた羽田桂子さんの喜びの声

父の仕事の関係で、光珠内から東明へ転居。

美唄会には今年初めて出席して、いきなり特賞のキララが当たるなんて！夢のようです。これで家計が大分助かります。

これでは毎年休まずに出席しなければなりませんね。今日は本当にありがとうございました。

毎年美声を聞かせる畑幹事

今年も十分に語り合ったし、又、来年も元気な顔や姿を見にやって来ます。

佐々木哲明さん（東明）

今日は大阪からおいで戴いたのですか？

年一度の事ですから、懐かしい顔を見るため、又、昔の仲間と語り合うために出て来ます。

毎年のように出て来ますが、今年のように盛大になったのはやはり一〇周年の記念総会だからではないでしょうか。

美唄市広報課久保田さん（取材中）

第9回　総会資料

◆ 平成４年度事業報告 ◆

1．第８回総会の開催
　平成４年２月28日　東方会館平安・末広の間（会員222名、賛助会員10社、来賓・地元ほか47名出席）
2．会報の発行（14号・15号）
3．第５回ゴルフコンペの開催（津久井湖カントリークラブ）
4．幹事会５回
　※　会員数　普通会員850名　賛助会員16社（平成５年２月１日現在）

◆ 平成４年度決算報告及び５年度予算 ◆

収　入　（単位：円）

項目	内訳	４年度予算	４年度決算	５年度予算
前年度繰越		2,247,877	2,247,877	1,271,217
総会費	会費及び祝儀	1,800,000	1,519,000	1,500,000
年会費	普通会費及び賛助会費	1,000,000	1,303,000	1,300,000
補助金	美唄市	300,000	300,000	300,000
雑収入	利息・その他	30,000	32,893	30,000
合計		5,377,877	5,402,770	4,401,217

支　出　（単位：円）

項目	内訳	４年度予算	４年度決算	５年度予算
総会費		1,800,000	2,040,425	2,000,000
	会報発行費	700,000	1,158,292	700,000
事業費	行事費	100,000	108,283	110,000
	会員名簿作成費	1,000,000	0	500,000
	会議費	200,000	231,217	220,000
総務費	通信費	100,000	60,730	100,000
	事務費		65,252	70,000
積立金	東京美唄会10周年記念事業費	1,000,000	0	0
総会補助金		0	0	200,000
予備費		477,877	467,354	501,217
合計		5,377,877	4,131,553	4,401,217

４年度　差引残額　1,271,217円

厳正な監査の結果、上記のとおり相違ないことを認める。

平成５年２月12日　監事　菊地元一㊞
〃　水田　努㊞

◆ 平成５年度事業計画 ◆

1．第９回総会開催（５年２月13日）
2．会報の発行（第16号・第17号）
3．第６回ゴルフコンペ開催
4．会員名簿発行
5．企業誘致懇親会
6．其の他

◆ 東京美唄会役員名 ◆

〈会　長〉
羽田　春兎　㈳日本医師会顧問

〈副会長〉
岡田　豊　美しヶ原高原開発㈱顧問
柏原　宏平　サンコーコンサルタント㈱顧問
竹林　省吾　三井石油化学工業㈱社長
都竹　卓郎　日本大学教授

〈顧　問〉
逢坂　国一　電源開発㈱常務取締役
有馬　祐憲　三井新美唄会世話人
佐藤　定雄　佐藤医院長元美唄市立病院
対馬　孝且　前参議院議員
山下　徳夫　専修大学理事長（衆議院議員）
渡辺　省一　衆議院議員

〈事務局長〉　細畑　正治　㈱東京クリエイト代表取締役

〈幹　事〉
飯尾　敦　㈱博報堂メディア開発部長
今野　厳　丸越電気㈱
岡崎登喜男　㈲岡崎商事代表取締役
加藤　昌雄　英潮社取締役
九島　秀夫　㈱全旅協クーポン会連盟
金　雄輔　第一ホテル
佐藤　正信　コンサルタント
田嶼　良子　タジマ医院
高橋　義夫　写団　富士代表
常盤　厚　三和シャッター工業㈱営業課長
中田　安隆　川崎市役所
中村　和彦　㈱コスモスソフトウェア部長
畑　義克　H²ジャパン
羽田　桂子　主婦
富山　尚徳　専修大学
水口秀太郎　水口電気管理事務所長

〈監　事〉
菊地　元一　青山学院大学法学部教授
水田　努　国民年金基金連合会　理事長

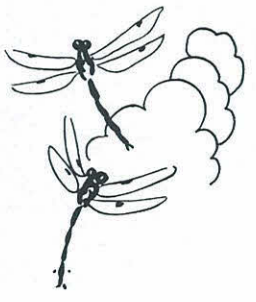
毎年開催一泊旅行に 85名以上が参加の常盤台会

故郷、三菱美唄（常盤台）を離れて二〇数年、一日としてあの山と山の間に、又、山の斜面に並ぶ家の数々、たまに出る美唄市内の街並み等、眼に浮かぶ景色には涙のにじむ思いです。昨年は「三菱美唄閉山二〇周年の集い」を我路公園内の慰霊塔でヤマで亡くなった仲間の霊を慰めた後、常盤台の竪坑公園に行き、合理化転職で美唄を離れた武田嘉夫さん（藤沢市）菅野英明さん（鎌倉市）成田亀造さん（平塚市）らかつての同僚と往時をしのんで来ました。

常盤台会（現東美唄会）は年一回一泊で、親睦会を開催しており、参加者も毎回八五名以上になります。

幹事の武田嘉夫氏からお話しをおききしました。

氏は三井美唄から天塩郡豊富村日曹炭鉱を経て三菱美唄二の沢で沼東を卒業後竪坑に入所。話中、共通の知人の名前が出て大変楽しくも、懐かしい一時でした。



東京美唄会の動き

日時	会合名・場所	議題
平成４年５月21日	第１回幹事会 於・美唄市東京事務所	新年度事業の進め方 佐々木孝嘉新所長歓迎会
8月22日	第２回 美唄市東京事務所	今年度の事業の進捗状況について 10周年記念事業の枠組みづくりについて 其の他
11月16日	第３回 美唄市東京事務所	総会（10周年）行事の具体策決定 会報編集について 会員名簿作成 其の他
12月24日	第４回 美唄市東京事務所	総合行事決定
1月25日	第５回 美唄市東京事務所	総会準備最終の件 ①Ａ当日の分担者 　Ｂイベント内容の確認 ②役員改選の件
2月13日	東方会館	総会および懇親会
4月７日	美唄市東京事務所	美唄会々報編集会議
4月27日	美唄市東京事務所	美唄会々報編集会議
平成５年２月27日	第１回 美唄市東京事務所	1. 総会の総括　新しい仕事分担について 2. 役員反省会及び新幹事歓迎会（萩風荘）
6月19日	第２回 美唄市東京事務所	1. 会報編集発行 2. 新年度計画について　各担当より 3. 東京事務所新旧歓送迎会（萩風荘）

はじめまして 新入会員です。

美唄に関係ある方をご存知の会員は、事務局までご連絡ください。

中島国治・君子（茶志内）
二四三―〇四四　神奈川県海老名市国分九九二

上村一郎
三三〇　大宮市東新井団地七〇―五〇―二―一〇五

瀬川光子
三四五　埼玉県北葛飾郡杉戸町本郷二四七―八

猪俣とみ江（三井美唄）
三五〇―一三　埼玉県狭山市富士見町一三―一―三三　新井ハイツ三〇一

中里智子（旧田崎）（旭台）
三六三　埼玉県桶川市上日出谷七六―五

新　裕視（滝ノ上）
二一四　北区堀船二―二七―二―一三六

岡本　彬
三一八　神奈川県相模原市双葉一―一―四

森田幸男
二六二　千葉市花見川区朝日ヶ丘町三三九―三

佐藤孝四郎・陽子（一ノ沢）
二三三　神奈川県茅ヶ崎市下寺尾四四―一

藤原康治・ハル（一ノ沢）
九四四　いわき市金山町朝日台一〇三

三浦正雄・ユキ子（三井美唄）
三三三　栃木県小山市城東七丁目三―一七

羽田桂子
一七一　東京都豊島区要町一―四一―五

伊藤　仁（三井美唄）
〇〇三一　札幌市白石区菊水２條一丁目八―三
北海電機工業株取締役営業部長

佐々木慶一
三三九　岩槻市東岩槻四―四―一七

安保　弘
三一八　相模原市上鶴間四―二―一三

浅山五生（三菱）
二四五　横浜市戸塚区品濃町五四―一南の街六―五〇一

亀田義孝
二七〇―一四　千葉県印旛沼郡白井町富士三四―一一〇

亀田秀治
二七四　千葉県船橋市松が丘三―三八―一四

北浦　光・よう子
二七一　千葉県松戸市松飛台九三―二八

小松三郎（清水台）
一九四　東京都町田市小山町五三

佐藤一雄
一四三　東京都大田区北馬込一―七―三

斉藤伸也
三〇三　茨城県取手市青柳五六―九

笹渕芳男・康子
一八五　東京都国分寺市内藤二―一七―一〇

堂城秀之
三四四　埼玉県春日部市南中曽根五九七―一九

千葉勝郎・節子
二三八　神奈川県横須賀市平和台三―一―三〇三

戸田　茂
二五四　神奈川県平塚市大島一〇三七―二―一〇一

服部　弘
三三七　横浜市緑区市ヶ尾町二五四―一市ヶ尾プラザビル二二六

安田昭春
〇〇三　青森県八戸市河原木字八太郎山一〇―四八九

安田　侃
二七〇―一一　千葉県我孫子市泉四六―一五

矢作　勇
二九〇―〇三一　千葉県市原市上高根二九六―一九九

佐々木　舜・寿々子
六六三　西の宮市津門稲荷町二―二五―六〇六

産直だより

新鮮な ふる里美唄の 産物の活用を

中村農業協同組合

鳥めしでおなじみの……特別栽培米のご契約を

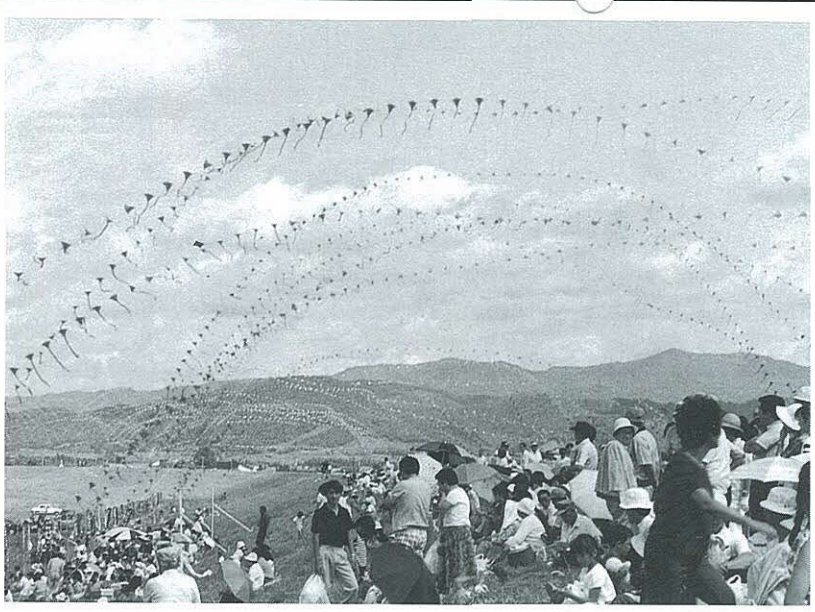
例年好評をいただいている、「鳥めしコーナー」を提供している美唄市中村地域をご紹介いたします。東京美唄会員の中にも中村出身の方が何人か出席されて居るものと思いますが、中村地域は平成六年で開基百年に成ります。

この百年の歴史の中で培われたものの中に皆さんから好評を得ている「鳥メシ」が生まれたのであります。

その先人の開拓地を引き継ぎ既に五代目の後継者がこの伝承を今も守っております。

当地は今では美唄市の中でも一戸当り所有面積平均八町歩を越え、中には十八町歩～二十六町歩以上の水稲を耕作している組合員もおります。

当地区は水稲・小麦を中心に振興作物としてメロン・花卉・椎茸等が栽培され美唄市農協と協同で出荷されておりますが、水稲を基幹作物として規模拡大を目指しております。



空知の原野で繰り広げられる「百万凧祭イン美唄」

鳥メシモアルゾ……

これも北海道で初めて蒸気機関による滝漑揚水機が当時の中村農場主の英断で導入され水稲作が拡大できるように成った誇り有る発祥の地でもあり、現在の「中村」は農場主の字であります。

この歴史に残る場所には記念碑が建立されて居り、今年中には周辺二・五キロメートルに渡り憩いの景勝地とすべく果樹並木を植える計画を立てております。

この計画は石狩川築提により残地で耕作出来ない空き地を利用し築提沿いに四種類の果樹を植え、春の花見を楽しみ、三年後には実る果物を道行く人が自由に摘む事が出来るように計画しているものです。

この様に開拓当時はもとより戦後の中村のイメージはどこにも見ることが出来ないほど近代化された広々とした田園地帯に成りつつ有ります。

旧中村邸・神社・小学校跡地等の周辺に於ても現在この地域一帯で工事が進んでいる石狩川左岸美唄市中村地先護岸災害復旧工事は主目的をメモリアル・リバーと題しており、完成後は石狩川の景勝地となります。

例年実施されている「百万凧祭りイン美唄」はこの中村の地で行われて居りますが壮大な牧草地の見晴らしの良い野原で繰り広げられて居り、大会には全国各地の凧師が自慢の凧を「天迄届け」と言わんばかりに腕を競っております。

各地から一万人を越える見学者が所狭しと集まり大変な賑わいです。

この大会には自慢の「鳥メシ」を婦人部の協力で二千食も用意し、また新鮮な野菜を提供し好評を得ております。

是非一度中村へお越し下さい。

中村は他の地域には見られない良いところが沢山有ります。

水稲の一般管理は個々が行いますが、育苗から刈取・乾燥調整迄の共同作業体系が一貫して行われて居ります。

乾燥調整施設は東洋一とまで言われた当時の施設であり六百六十町歩の処理能力を持っており北海道のガイドブックに掲載されております。

この様に恵まれた環境で若い後継者は将来に夢を託しながら水稲の減農薬「特別栽培米」に取り組み消費者協会の協力で契約栽培の輪を拡げておりますので東京美唄会の会員の皆様是非契約して頂くことをお願いします。

（中村町　伊藤義幸）

空知中央卸売市場

お土産・ご贈答には 新鮮な中央市場の産物を

東京美唄会会員の皆様には、ご健康でご活躍のことと拝察いたします。

当社は、美唄市内に既存していた三市場が生鮮食料品流通機構の整備拡充の必要性から合併し、昭和四三年四月一日設立されました。

所在地は、皆様方御承知のことぞんじますが、旧美唄炭山線有明道路沿いに位置致します。

当時、美唄市は昭和三八年七月の三井美唄鉱業所の閉山と、残る美唄炭鉱㈱も昭和四七年四月に閉山を迎え、当時の人口は六万人強を有する都市でありましたが、相次ぐ人口の激減に見舞われ消費人口を見込んでの市場経営も、容易ならざる物がありましたが、幾多の困難を乗り越え現在では、美唄市民に対する生鮮食料品提供の要として公共的使命を達成すべき重要な卸市場に成長しました。

皆様方御承知の通り現在の美唄市は雄大な空知平野に位置し、四方に大産地を控え恵まれた大地で育った米、美唄産グリーンアスパラ、メロン、馬鈴薯、玉ねぎは、勿論豊富な特産物に囲まれております。

水産物は、日本海、オホーツク海からの豊富な資源を持つ各産地より毎日タラバガニ、毛ガニ、勿論ホッケ等の入荷があり活気あるセリにより荷捌きを致しております。

既に皆様方御承知の通り当社は「ふるさと宅急便」に積極的に取り組み、進歩した情報機能と宅配機能を利用して、新鮮な北海道の味、そして故郷の味を産地から直接皆様方の食卓にお届け致して居ります。

美唄産グリーンアスパラ、夕張メロン・月形メロン・奈井江メロン、根室枝幸方面からタラバ蟹・毛蟹・ズワイガニ等、ご注文頂ければ、産地より直接クール宅急便にて食卓にお届致します。（特に奈井江メロンをお薦め致します。）

どうか存分に北海道の味、故郷の味をお楽しみ下さい。

当社は常に皆様方の貴重なご苦労と労力で築き上げた故郷美唄の活性化の為努力をし将来に夢を託し「がんばりたい」と存じますので、宜しくお願い申し上げます。

（宝崎専務）

セリでニギワウ中央市場

大阪でも頑張っている

三菱美唄会

大阪府でも三菱美唄番町出身松田実さんを中心に大阪三菱美唄会を結成活動しております。

松田さんは昭和三六年に社命で三菱美唄を閉山で退職した人達を大阪での受け入れ先探しをして一人二人と迎え今では三〇人余りの集団となっております。

最初のころはなんにも判らず自分の家、勤め先の決まるまで泊めたこともあったそうです。

三〇年たった今では年一回の会合に元気な顔を見せてくれるようになったそうです。

会長に松田実さん、昨年幹事に森川光男さんを選出して十一月には松田さんの喜寿祝いをいたしました。

今後は、東京美唄会とも連絡をとり交流を深めたいと思っております。とのことです。

東京奥尻島人会の皆様へ

この度の北海道南西沖地震で多大な被害を被った奥尻島の皆様に哀悼の辞を述べると共に、心からお見舞い申し上げます。

東京美唄会一同

祝　東京美唄会創立10周年

〈幹事〉
飯尾敦
今野厳
岡崎登喜男
加藤昌雄
九島秀夫
金輔雄
佐藤正信
田嶋良子
高橋義夫
常盤厚
中田安隆
中村和彦
畑義克
羽田桂子
富山尚徳
水口秀太郎

〈監事〉
菊地元一
水田努

美唄だより

大きな夢開花
元三菱美唄　三宅佐希子さん

札幌美唄会顧問で、化粧品会社社長三宅左希子さんの「夢のまた夢」が、見事に花開いて、空知中核工業団地に念願の工場竣工し、この七月に本格操業となった。

三宅さんは、栄町の出身で、化粧品業界に関係して三〇余年、昭和四七年、化粧品会社を設立し、左希子ブランドの化粧品を次々に開発しヒット商品を生み出して来ました。

美唄工場では、従来の化粧品の他、美唄特産のハスカップやスズランなど、北海道をイメージした花の香料をブレンドした左希子化粧品の自社ブランド商品を販売する計画は、すでに確立された。北海道から沖縄までの商販ルートに乗せる予定との事です。

なお、美唄工場長には、全日空の関連会社でエンジニアをされていた長男、三宅直人氏が美唄にUターンし、新築された住宅に家族と共に転居され、新しい美唄市民となられました。

道道・白川～美唄線
さらに二橋完成で景観向上へ

びばい湖周辺さらに二橋完成へ

美唄市東美唄町から国道四五二号、芦別市内を経由して富良野市へ抜ける道道白川～美唄線の建設工事は本年度、約二十四億円の事業費を投入、びばい湖周辺では二つの橋が完成するほか、美唄ダム管理事務所前の道路も直線化され、景観整備が大きく進む計画となっている。

同道路のびばい湖沿い区間には、ダム側から湖の奥に向かって美郷橋（全長七九メートル）雨美橋（同八六メートル）美雪橋（同四九メートル）美映橋（同六一メートル）の四本の橋が設置される。このうち、美郷橋と美雪橋は昨年秋までに完成しており、工事を担当している札幌開建岩見沢道路事務所によると、本年度は脚部工事を終えている雨見橋と美映橋が仕上げられる。

またダム管理事務所前では、展望台が設けられている高台の一部三万立方メートルを切り崩し、現在はカーブしている道路を直線化して美郷橋と結ぶ工事が行われている。

この結果、来年春には美唄ダムから第二ダム付近まで全幅八・五メートルの新しい道路が未舗装ながら開通し、車で楽に入れるようになる。

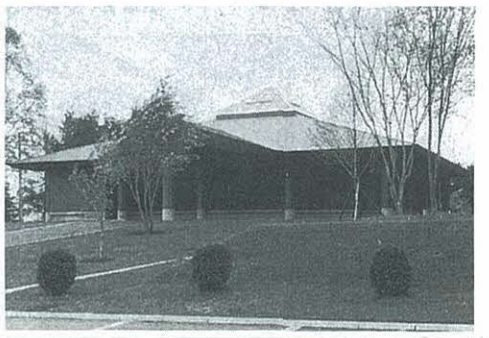
一方、国道四五二号の七夜橋から富良野市へ向かう芦別市内の区間では、昭和六十三年に着工した富芦トンネル（全長二七三三メートル）、平成三年着工の大滝トンネル（同三百九五メートル）の堀削工事などが継続している。

カラマツ、ナラ、シナ、タモ・・・道産材ふんだん
道立「緑の情報館」開館－美唄林業試験場

市内光珠内町の道立林業試験場（生井郁郎場長）で昨年秋から工事が進められていた展示館「緑の情報館」が完成し、六月三日に開館する。

建物は鉄骨造り平屋建て、延べ床面積三百五十平方メートル。あずま屋風の外観で、内部は二百五十二平方メートルの展示室のほか、四十人弱を収容できるマルチ・スライド上映室を備えている。道産木材の良さをアピールしようと、内外の壁、床、柱にカラマツをはじめナラ、シナ、タモなどの合板、集成材を用いた。

展示室では、四十枚のパネルや模型、ビデオ機材、パソコンを使い、日本と世界の森林、林業の現状、森林が地球環境保全に果たしている役割のほか、同試験場が取り組んでいる植林用樹の品種改良、衛星写真を使った森林資源分析、伐採作業の省力化へ向けた高性能機械の開発などを紹介している。



また、ビデオ・デッキとモニター・テレビが三組置かれており、地球環境問題や林業研究などのビデオを自由に見ることができる。

総事業費は一億五千六百万円。道立では初の森林関係展示施設で、同試験場では「見学者の希望に応じて構内の見本林や樹木園も案内し、林業研究、環境問題への理解を深めてもらう」（企画指導部普及課）計画だ。

三日は市内の各界代表、道林務部関係者らによる開館式と、記念植樹を行うことにしている。

演歌界に新勢力
当会員　眞木由布子

真木由布子は、北海道美唄市出身の三十三歳。劇団「四季」の元研究生で、ドラマや映画に出演していたが、昭和六十年にポップス歌手としてデビューした。が、ヒット曲に恵まれないまま、平成元年に「いのちの花」（テイチク）で演歌歌手に転身して苦労を重ねた。その後じわじわと知名度を上げ、今回の「涙化粧」で一気に躍進した。激しく燃える女心を、しっとりとした雰囲気で歌って好評。デビューの翌年から地道に続けている「ふれあいコンサート」も功を奏した。「芸歴は長いけど、演歌の世界では新人のつもりで頑張りたい」と燃えている。

美唄東高道外在住の集の会
納涼パーティーを開く

美唄東高同窓の集いの会では、昨年九月に設立総会を開きましたが、今年も何か親睦をはかる事はないかと、幹事会で発案があり、それではと、納涼パーティーはとの幹事の声で、八月二一日土曜日の午後二時から午後四時迄、場所は、昨年と同じ東方会館です。

当日受付も実施しておりますので申し込のない方でも参加をお待ち致します。

会費は、一万円で、通信費・事務費・会報費等を含みます。

山口朋子さん長い間御苦労様でした!!

当、美唄会で、最初の頃からとして、いろいろとお手伝い戴きましたが、三月末日をもって幹事を辞めることになりました。

山口さんは、細畑事務局長の誘いで美唄会の幹事を引き受けられ、一〇年近くもの長い間、美唄会総会で受付や皆様方の連絡として、なかなかの力を発揮してくれました。

受付では、常に笑顔を忘れずに皆様方を会場に案内してくれました。

山口さん、どうも長い間ご苦労様でした。

品定めの目真剣
リサイクル・フェア盛況

粗大ゴミの中から再利用できる家具などを市民に無償提供する美唄市主催の第一回「リサイクル・フェア」が十二日、市役所前庭で開かれた。展示した五十六点が引き取られ、市の担当者も驚く成功を収めた。

展示されたのは自転車、タンス、ソファ、電気洗濯機、ミシンなどで、訪れた市民からは「これがゴミとはもったいない」との声も出るほど。隣接の空知神社で春祭りが開かれていることもあって人出は百人を超え、掘り出し物を求めて開始の二時間以上前から品定めをする人もいた。

一品ごとに希望者を募り複数の場合は抽選したが、子供用タンスや自転車が人気を集め、三十人以上が殺到した品もあった。

「こんなに人が集まるとは思いませんでした」と市の川村英明・市民課主幹。今後はリサイクルセンター（南美唄町）で収集した粗大ごみの再利用できる品を展示し、随時、希望者に提供していく計画だ。

抽選を前に品定めする市民たち

直線道路日本一を体感
まちおこし研究グループ
滝川～美唄間二九・二キロ歩く

「日本一の直線道路を体感しよう」と、まちおこし研究グループ「夢街道一直線」のメンバーが九日、国道一二号の滝川市新町－美唄市光珠内町間二九・二キロを歩いた。

参加したのは永桶裕明会長ら、滝川、砂川、奈井江、美唄に住む同グループの会員で、女性四人を含む十五人。午前八時に「夢街道一直線」のノボリを先頭に滝川新町を出発。奈井江町で昼食休憩をとり午後三時四十分、光珠内町にゴールイン。

歩き終えての感想は「景観に面白みがなく、街路樹が少ない」（永桶会長）。沿道に植木や花壇をきれいに手入れした民家の庭が見えると心が和んだそうで、「一直線花壇コンクール」の企画が持ち上がった。

また、沿線の各市町に共通デザインの「直線道路日本一」看板を立てたり、廃屋となっている元ボウリング場やスーパーをきれいに整備できないかといった論議が道すがら交わされた。道端に投げ捨てられている空き缶が予想以上に多いことも、参加者を驚かせた。

盛上がった車いすリレー
管内身体障害者大会

第二十五回空知管内身体障害者スポーツ大会が六月十三日、市営陸上競技場で開かれ、六百人余りの選手たちがボランティアの激励を受けて競技に力を尽くすとともに交流を深め合った。

美唄での開催は十五年ぶり、三回目。道身体障害者福祉協会の管内支部、分会や福祉施設から計二十二チーム、六百四選手が出場し、開会式では美唄支部の田中俊明さん（五二才）が選手宣誓した。会場づくりや競技運営は空知陸上競技協会、市内の高校生、婦人、ボランティア団体会員ら約七百人が当たった。

競技種目は二百メートル・走り幅跳び、ソフトボール投げなど。上下肢まひのハンディを克服しての車いす走や、ゴールからの信号音を目標にした視覚障害者の六十メートル音響走ではひときわ大きな声援が送られた。

昼食をはさんで美唄東小スクールバンドの演奏や、玉入れなどのアトラクションゲームも楽しみ、大会の最後を飾った車いす二百五十メートルリレーでは道立リハビリセンターAチームが、四百メートルリレーでは光生舎クリーナースチームが優勝した。

力走する車いすの選手たち

編集後記

発行が遅れましたことをお詫び致します。

情報の集め方に手違いや、遅れ等、又、私事ですが体調を悪くして入院したりとで皆様方の手にするのが遅れて申し訳ありません。今後はもう少し早く準備に入り皆様方の目にできるようにいたします。

そうこうしているうちに2月の総会が近づいており、編集部一同力を入れて頑張りますので、ご協力をお願いいたします。

毎度のお願いですが、皆様方の身近でおきたこと、グループの事、何でもよろしいですから事務局までおしらせください。

皆様方の会報ですので皆様方の情報をお待ちいたします。

写真　高橋義夫・佐藤正信